

雑司が谷歳時記

1

春 — 花見

豊島区は染井吉野の発祥の地、区内の花も桜である。春ともなれば区内は桜一色に染め上げられる。中でも法明寺参道は、寂びた山門へと続く石畳が花の回廊となり、その雅趣に富む景色はつとに名高い。

■3月下旬～4月上旬



2

夏 — 盆踊り

池袋駅東口から徒歩圏内の雑司が谷は新旧二つの顔を持つ。盆踊りといえば、都市の顔の代表がサンシャインシティ盆踊り(写真上)であり、歴史の顔は鬼子母神盆踊りである。

■サンシャインシティ盆踊り＝8月初旬
■鬼子母神盆踊り＝7月下旬



3

秋 — 御会式

鬼子母神の御会式は日蓮聖人の忌日に営まれる法会だが、その独特の太鼓のリズムに魅せられ、いまや若者のパフォーマンスの舞台の観。しかし闇に浮かぶ万灯は荘厳であり幻想的だ。最終日の人出は十数万人。

■10月16～18日



4

冬 — 酉の市

雑司が谷の冬の風物詩は大鳥神社西の市である。夜店には子供たちが群がり、神楽殿での奉納演芸には観衆から声援が飛ぶ。熊手売り場ではそここから三三七つの手拍子が湧き起こり、賑わいは夜更けまで続く。

■11月の酉の日



雑司が谷歴史探訪

5

法明寺

創建は弘仁2年(811)。「東鑑」にも記された雑司が谷随一の古刹で、雑司ヶ谷鬼子母神は同寺の諸堂の一つである。本堂の左手の梵鐘は東京都指定文化財。墓地には小幡勘兵衛等著名人の墓が多い。

■豊島区南池袋3の18の18



6

鬼子母神堂

雑司ヶ谷鬼子母神として名高い。本殿は寛文4年(1664)造営で豊島区内最古の建造物。堂前の大イチョウは樹齢700年、子授けイチョウとして親しまれる。土産のススキミズクは数少ない東京の民芸品。

■豊島区雑司が谷3の15の20



7

雑司ヶ谷霊園

約3万5000坪に及ぶ都営の共同墓地。3代将軍徳川家光が開設した種苗園跡地にあたり、享保以降は幕府の御鷹部屋が置かれた。樹木が多く、豊かな緑が雑司が谷地域に潤いを与えている。著名人の墓多数。

■豊島区南池袋4の25の1



8

雑司が谷旧宣教師館

アメリカ人宣教師マッケイレブの旧宅で、19世紀後半のアメリカ郊外住宅の特徴を残す。都内でも数少ない明治期の宣教師館であり、現存する区内最古の近代木造洋風建築である。東京都指定の有形文化財。

■豊島区雑司が谷1の25の5



後援 豊島区観光協会
としま未来文化財団

協賛 東京商工会議所豊島支部
豊島区商店街連合会
社団法人豊島法人会
社団法人豊島産業協会
鬼子母神通り商店睦会
鬼子母神西参道商店街
東目白振興会
雑司が谷弦巻通り商友会
南池袋東通り商店会
南池袋サンロード商店街

発行 雑司が谷七福神の会

〒171-0011
豊島区南池袋一八一八
☎三九八二・四六四六

イラスト 大川陽子/デザイン 山本寛